

グリーティング

生まれて初めて天然の蛍を見たという知人の話です。

場所は神奈川県北部陣馬山近くの山あいの川辺で、地元の人たちの話を聞いて、街灯もない暗闇の草むらを川沿いに歩き、じっと蛍を待ったのです。午後8時頃。せせらぎの音が淋しく、夜気がひんやり体を包みます。一瞬、スーッと光の筋が見えて、あっという間に驚く間もなく、あっちでもこっちでも光が見えて、消えて、見えて、消えて……。幻想的な光の舞にしばしボーッとしてしまい、そのふしぎな光景に感激してしまったというのです。

その日から毎晩のように家族や友人を連れ出して、感激の連鎖を楽しんでいるとのこと。

私もその話しぶりに嬉しくなり、蛍狩りに行ってみようと思っています。

6月中なら間に合いそうです。 S. K



技工情報

◎グラスファイバーを用いた補綴物の製作について

・支台歯形成は?

支台歯形成の基本はオールセラミッククラウンと同様になります。しかし、セラミックスに比較して破壊靱性の高いレジン系材料においては、辺縁形態にディープシャンファーを選択する事も可能になります。ブリッジの場合には欠損側に向かいファイバーフレームが設置されるため、支台歯咬合面から欠損側にかけてボックス等を形成し、ファイバーが設置できるスペースを付与する必要があります。形成面に関しては、可及的に滑らかな曲線となるように配慮し、鋭角的な部位ができないように注意する必要があります。角張った箇所がある場合には、適合不良の原因となるだけでなく、応力集中を招き、破壊と起始点となる危険性がでてまいります。

1) 近遠心及び、頬舌断面におけるグラスファイバーフレームの最適な形状

最適な形状はファイバーがブリッジに発生する最大主応力の方向と一致し、高い引っ張り応力の分布が見られる位置に配置することが望ましくなります。

近遠心断面では、連結部の下部鼓形空隙最深部及びポンティック基底面部に配置し頬舌断面においては、ポンティック底部の形態と相似型となるような半月状が力学的に良好となります。

2) グラスファイバーの補強量は?

グラスファイバーフレームの垂直補強量は咬合面のクリアランスに対して、最低約1/3以上の暑さが必要となります。下図の様に、シミュレーションより得られた一にファイバーを設置する事が有効になります。

